

(評価資料の見方)

事務事業評価資料

施策名		県重要施策体系表に基づく施策名を記載している。			所管部局課名					
事業名		上記施策を推進するための事業名を記載している。			担当者電話番号					
事業目的		① ② ③ 事業の目的(ねらい)を記載している。								
事業内容		事業の具体的な内容を記載している。			事業開始年度					
事業に要するコスト	区分	平成22年度決算額		平成23年度当初予算額		平成24年度当初予算額				
	事業費①	評価を行う事業の各年度の事業費を記載している。上段()書きは事業費のうち一般財源を記載している。			(0千円) 0千円		(0千円) 0千円			
	人件費②	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員		
	総コスト(①+②)	0千円 0.0人		0千円 0.0人		0千円 0.0人		0千円 0.0人		
事業の目標		① [目標設定理由]			② 事業の目的を達成するための目標と、その目標を設定した理由を記載している。 [理由]					
		③ [目標設定理由]								
事業目標の達成度を示す指標		指標名	目 標		22年度実績	23年度見込み	24年度目標	達成率 (%)		
			目標値	年度	(0千円)	(0千円)	(0千円)	H22	H23	H24
		事業の目標を達成するための評価指標を設定し、目標値と目標年度を記載している。			(0千円)	(0千円)	(0千円)	過去3年間の指標の推移及び目標値に対する達成率を記載している。 各年度の指標値の下段()書きは、総コストを指標値で除した指標1単位当たりのコストを記載している。		
評価結果	必要性	事業目的に照らして、①(必要性)公共が関与した事業実施の必要があるか、当該事業を実施しなければどのような支障が生じるのか、②(適時性)現時点において実施しなければならない理由、③(代替性)当該事業によらなければ目標を達成できないのか、という視点で必要性の評価を行っている。								
	有効性	「事業目標の達成度を示す指標」欄に記載した「達成率」から判断し、事業実施の効果が発現しているか、という視点から有効性の評価を行っている。								
	効率性	「事業目標の達成度を示す指標」欄に記載した「指標1単位当たりのコスト」から判断し、事業の目的達成のための支出は効率的に行われているか、という視点から評価を行っている。								
	民間・市町との役割分担	①事業の実施主体として適切であるか、②県の先導的・補完的役割が必要であるか、③市町・民間に委ねられるものはないか、という視点から民間・市町との役割分担の評価を行っている。								
	受益と負担の適正化	県民・企業・市町に対し相当の受益が発生する事業である場合には、適正な受益者負担を求めているか、という視点から評価を行っている。								
実施方針	方向性	新規	拡充		継続		実施手法の見直し			
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)		延長	終期設定		
説明	市町移譲	民間移譲		民間委託		RFI	負担割合変更	事務改善	その他	
	評価結果を踏まえた事業実施の方向性を記載している。			評価結果を踏まえて、事業の方向性を示している。なお、実施手法の見直しを行う場合は、見直し内容の方向性も示している。						